
1 . 調査の目的

相模原市では、平成 12 年度の第 1 期高齢者保健福祉計画から、「いきいきと充実した生活をおくることができる高齢社会の形成」を基本理念とし、元気な方には、いつまでも健康で過ごせるような生きがい活動支援や健康づくり支援を、また、身体の状態に不安がある方には、ねたきりにならないような介護予防支援を、そしてねたきりやひとり暮らしなどの方のためには、安心して生活できるような生活支援を行うなど、高齢者それぞれの生活状態に応じた支援に努めているところです。

本調査は、在宅で介護を受けている重度の方々へのアンケートを実施し、こうした方々の実態やニーズを把握することで、今後の施策展開に活かしていくことを目的とするものです。

2 . 調査の方法

本調査の方法等については、次のとおりです。

[実施期間] 平成 18 年 6 月 22 日～ 7 月 31 日

[調査基準日] 平成 18 年 5 月 1 日

[調査方法] 郵送自記式法

[調査母集団] 相模原市在住で、在宅の要介護 4 または要介護 5 の方

要介護 4：動作能力が低下し、介護なしには日常生活を営むことが困難となる状態。

要介護 5：要介護 4 の状態よりさらに動作能力が低下しており、介護なしには日常生活を行うことがほぼ不可能な状態。

3 . 配布・回収の状況

配布・回収の状況は次のとおりです。

配布数	回収数	回収率	標本誤差
1,724 票	931 票	54.0%	最大 ± 2.2%

標本誤差とは、母集団から一部を抽出して実施するサンプリング調査において得られた値と、母集団における真の値との差異を表す。

例えば、標本誤差最大 ± 2.2% の場合、ある設問回答における 50.0% という値に対して、母集団の真の値は $50.0\% \pm 2.2\%$ (= 47.8% ~ 52.2%) のレンジにあると推定される。